

よらねわかね 小合

地域の人口動態

平成24年10月末現在	
世帯数	1,196 戸
男	1,949 名
女	2,067 名
人口	4,016 名

2012. 12. 15 第32号

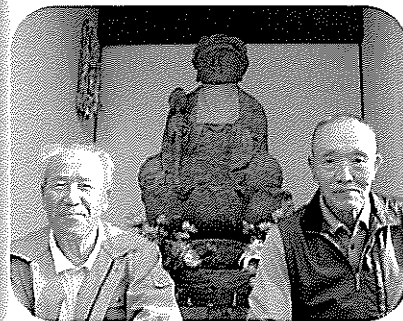
発行者 小合地域コミュニティ協議会

発行人 四柳健二



私たちの住むずっと前からこの地にあり、ふだん気にも留めない小さな存在。しかし、私たちの生活や心のありようをずっと見守り続けるお地藏様。小合各地区のお地藏様を巡り、その歩みからふるさと小合を見つめなおしてみたいと思います。

天を仰ぎ、里を見守るお地藏さん



左:古川三郎さん 右:西済健次さん

小屋場のお地藏様



小合を貫通する国道460号の古田(西)交差点を起点とする県道127号を小須戸方面へ、大通川を越えたと老人ホームこうめの里があります。そこを右へと村道に入り150mほどの角にお地藏様がいらつしゃいます。りっぱなお堂の中には、等身大ほどの大きなお地藏様が鎮座しています。このお地藏様がある小屋場地区は村道がV字形に走り、約90軒がその道沿いにあります。あまり知られていませんが、昭和30年代、新潟県のイチゴ栽培発祥の地とのことで、大通川の氾濫や腰までつかるといふ作業からの展開を目指し試行錯誤した農作物がイチゴであったとのこと。

この小屋場のお地藏様を先祖代々守護、管理を行っている古川三郎さん、小屋場の町内会長の西済健次さんのお二人にお話を伺いました。

西済さんの祖母である明治25年生まれのおばあちゃんから聞いた記憶から、疫病の発生または作が流れたりしないような農作物を守るための願いを込めたお地藏様だろうとのこと。江戸時代のいつころか、具体的ないきさつはよくわかっていません。西済さん古川さんが子供のころは、子どもたちの遊び場であったり、お年寄りがごさを敷いて日向ぼっこなど憩いの場、寄合の場であったとのこと。また地域内の人が亡くなるとお花などを供えられたりするなど地域の交流、大切な心通う場所でもあったとのこと。かつてほどではないが、現在も普段寺の住職、小林三三さんが毎年8月23日に幟旗に太鼓で祝日としています。

このお地藏様のユニークなところは、本尊と台座に隙間があり、台座の内側がすり鉢状になっており、事実上の賽銭入れになっていきます。しかし他でよくある賽銭泥棒はないとのこと。立派なお地藏様の重みがつまらぬ者を寄せ付けなことに加え、小屋場地域の平安をもたらしているものと思わせてくれます。古川さんの掃除とお花に見守られ、道行く人のごく自然な会釈を受けるお地藏様。この小屋場のお地藏様は、これからも小屋場の老若男女を見守り続けてくれるでしょう。(Y.S)

地域インフォメーション

【追悼】

栗原祐一氏を悼んで

7月29日に亡くなられた故栗原祐一氏に対し、去る8月21日の閣議において「位記(正五位)」と決定しました。

生前、故人は小合村議会議員、そして新津市議会議員、その後議長として小合・新津地域の振興と共に地方自治の発展に寄与されました。

また新潟県花卉球根農協の設立に参画し、初代組合長として県下の花卉球根生産・販売の基礎を築かれると共に、小合村農協組合長を皮切りに新潟県の農協連合会各連の会長に就任され、農協全国連の要職を歴任されました。その足跡は、農家の経済的・社会的地位の向上に大きく貢献されたものでした。

故人のご冥福をお祈りするとともに、謹んでここに哀悼の意を表します。
(合掌)



年末・年始にかけて、火災の発生が増えます。ストーブの上には、乾し物をしないなど『火の用心』をお願いします。

小合地域一斉防災訓練

十月二十一日(日曜日)

災害に備え防災訓練に参加しましょう。の声かけで小合地域自主防災訓練が実施されました。



第二次避難場所の様子(小合小学校)

今年も、小合地域一斉に自主防災訓練が開かれ、総人員748名の方が参加し、災害に備えて、それぞれの町内・自治会毎に避難方法を確認しました。

今年、第二次避難所までの避難訓練を行い、事前に「図上訓練」したコースを通り避難しました。

第二次避難所では、簡易タンカ作りの実演訓練が行われましたが「簡易タンカ」を作った際に、2会場で、タンカ用の棒が折れてしまうトラブルが発生しました。最後に、非常食のアルファ米が全員に配られ、訓練を無事終了する事ができました。簡易タンカの棒折れ、他、今回の反省点に上げました。

地域と学校

パートナーシップ事業

小合中 十月十四日(日曜日)

小合中学校では、地域と学校パートナーシップ事業の一環で、秋葉区内のウォーキング(約23キロ)を計画し、交通安全誘導や帯同員のボランティア協力者を募集して開催しました。

このふれあいウォーキングは、今年で2回目で、コースは、次の通りです。

- スタート 小合中→野方→子成場→梅の木→県立植物園
- ↓新津駅→山谷→大鹿→小合中

当日のウォーキング中は天候に恵まれ、中学生はほとんどが無事23キロを制覇、大人の帯同員の人も、後半疲れが見られましたが最後まで歩き通しました。また、主要な箇所地域の人たちが立ち、交通誘導と見守りをしてくれました。



秋晴れの中、ウォーキングの中学生たち(竜玄の付近)

サークル紹介

ヨガ・パドマ

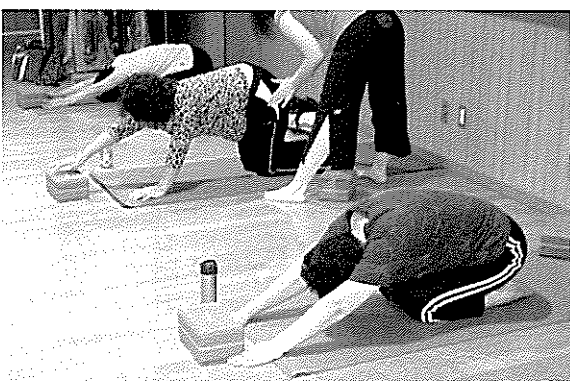
月3回金曜日・夜間教室

小合のコミセンで、金曜日の夜にヨガ教室を開催しています。

ヨガ(ヨーガとも言いいます)にはあらゆる人のライフスタイルを向上させる働きがあります。

若い人が行えば、若々しい柔軟性のある体をいつまでも保つ事ができ、年配の人が行えばヨガの穏やかな動きが、関節炎や循環系の体調を整える事ができます。

ヨガ教室では写真のような動きを行うだけでなく、めい想のトレーニングも行っています。



みんなの健康シリーズ

「ラジオ体操のすすめ」

「新しい朝が来た。希望の朝が…」という、まさに1日の始まりにふさわしい、元気いっぱい、フレッシュで始まる「ラジオ体操の歌」を一度は、聞いたことがあるはず。

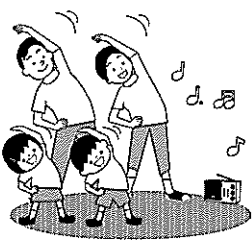
子供のころ、夏休みになると神社の前や町内の広場などに集まってラジオ体操をしたことが懐かしい思い出になっているのではないだろうか。

ラジオ体操が始まったのは、昭和3年(1928年)からで2008年には「ラジオ体操誕生80周年」を迎えました。

ラジオ体操をしている方の多くが、とても活動的で充実した1日が過ごせるようになったと言います。

人間の睡眠は体内時計によってコントロールされており、朝の光を浴びて軽く体を動かすことで、体内時計のスイッチがオンになります。朝のラジオ体操を生活の中に取り入れ、習慣化することで、良い生活のリズムを取り戻すのに、まさに打ってつけです。

【参考文献】ラジオ体操健康法

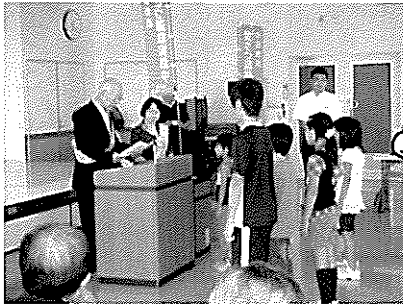


特集

小合の子どもたち

小合「愛さつ運動」感想文

元気にあいさつしよう!



出発式の様子(優秀標語の表彰式)



小合東小学校

あいさつをしよう!

3年 笠原 光太

ぼくは、あいさつ運動が始まってから、あいさつをいっしょにしようががんばりました。ぼくは、あいさつをすることがとくいではないけれど、学級で、毎日二十人以上の人にあいさつをするというめあてがあったから、そのめあてをたっせいするたために、たくさんの人とあいさつをしました。そして、たくさんの人があいさつを返してくれるようになってうれしかったです。これからも、いっしょにあいさつをしていきたいです。あいさつをして、みんなをえがおにしていきたいです。

愛さつ運動を通して

6年 吉田 茉奈

わたしが、愛さつ運動でがんばったことは、大きな声であいさつをするということです。わたしは、いつも朝はむねむねと小さい声であいさつをしていたので、この機会にがんばりました。愛さつ運動の期間には、地域の方やお家の人がわたしたちの登校を見守ってくれました。その方たちにあいさつをすると、みんなが笑顔であいさつを返してくれたので、とてもうれしい気持ちになりました。だから今度からは、愛さつ運動の期間でなくても、地域の人に会ったら、みんながうれしい気持ちになれるように、大きな声で、笑顔で、心をこめてあいさつをすることをこころがけていきたいです。

小合小学校

愛さつ運動を終えて

6年 澤口 恭子

私は、愛さつ運動を終えて自分がかけたことがあります。大きな声で相手の顔をみてあいさつすることです。そのためには、すかしがらずにあいさつすると良いと思いました。だからみんなに大きな声であいさつできました。良かったです。前ははずかしくてあいさつが返せなかつたけど、あいさつしなないとおさらはすかしいと気づきました。だからこれからも大きな声であいさつしたいと思います。

愛さつ運動を終えて

6年 押味 諒

ぼくが、愛さつをしてがんばったことは、大きな声を出してあいさつをしたことです。ぼくは、愛さつ運動の前の日までは、あまり声をだしていません。ただ、愛さつ運動をしてから声が、大きくなりました。愛さつ運動で学んだことは、愛さつをすることは、ぜんぜんはずかしくないということです。まえまでは、少しはずかしくてあまり大きな声がでていなかったけれど、愛さつ運動をしてから、地域の人とあいさつして分かったことは、だれとでもあいさつすることです。地域の人には朝いつもまわってくれるので、遠くまで1回近くで1回、2回もあいさつできました。地域の人とあいさつできるのが、全校の人ともっとあいさつをしてがんばりたいです。

小合中学校

愛さつ運動の感想

1年 小野 祐里奈

わたしが、愛さつ運動を行って思ったことは、愛さつをすると気持ちがいいことです。わたしが、朝学校に行くときどき近所のおじいさんがお孫さんと外に出ています。そして笑顔で「いってらっしゃい。」と言ってくれます。そう言ってくれるとうれしくなっていました。笑顔で「おはようございます。」と言います。すると、すてきなうれしい楽しい、気持ちいいのです。気がついたことは、地域の人たちと愛さつをかわす「コミュニケーション」がとれるし、笑顔で言われると気持ちいいことです。気持ちいいのは良いことだと思います。これからは笑顔であいさつをできるようにしていきたいです。

愛さつ運動を通して思ったこと

2年 若月 真尋

ぼくが、今回の愛さつ運動を通して思ったことは、あいさつはやっぱりとても大切だなと思いました。たとえば、朝登校する時に、地域の人とあいさつすると、すて

気持ちがいいし、1日が楽しく過ごせると思います。

今回、愛さつ運動をやって、小合地域は今までよりもさらに明るくなり、元気になったと思います。愛さつ運動が終わっても、これからずっと元気にあいさつをしていきたいと思いました。

これから、もっと小合地域を盛り上げていけるように、自分のできることなら、なんでもしていきたいと思えます。

愛さつ運動を終えて

3年 鈴木 万由

私は、中学校への登下校中、地域の人に会うと必ず「おはようございます。」と言っています。そうすると大半の人達はみんな「おはよう。」と言ってくれます。それに加えて、「いってらっしゃい、気をつけてね。」と言って下さる人もいます。それらを聞くことも良いです。逆に私があいさつをして返してくれない地域の人がありました。「声が小さかったのかな...?」「気分が悪かったのかな。」とか、ちよつともやつとした。これは体験してあいさつで気分は変わるものだな、あいさつって何気ないけど大きなことなと思いました。地域の人には色々感謝しているし、これからはずっと明るいあいさつを心がけていこうと思います。

おおきな声で「おはよう ございます!」



あったんだと小合

(コミ協専門部の活動から)

コミ協専門部による多くイベントが開催されましたので、その画像を掲載します。参加された方ありがとうございます。

ふれあい交流会 (第8回)

十一月十八日(日)

地域の方々、約百二十名余りの参加で開催いたしました。

午前中は、まず社会福祉協議会より緊急情報キットの小合地域配布についてのお話があり、秋葉区役所の保健師さんより健康についてのお話と軽い体操を教えてくださいました。

その後、新潟県金融広報アドバイザーの方による高齢者をねらった振り込めサギや悪徳商法についてのお話がありました。

手作り味噌汁とお昼のお弁当を食べた後に、地域の方のアトラクションがあり、楽しい時間を過ごしました。

【福祉厚生部】



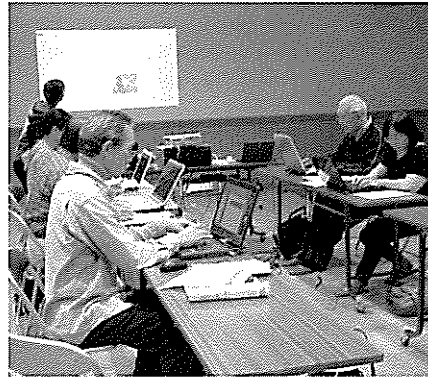
全員で、健康体操をしました。

第二回パソコン教室

十月九日、十六日、二十三日

開催希望が多かった「パソコン教室」を三日間に渡りを行いました。

【文化教養部】



ツールペイント教室

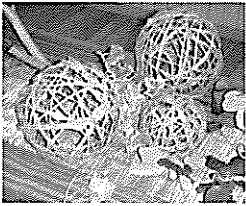
九月十一日(火曜日夜)

山ぶどうのつる細工教室

十月十四日(日曜日)



ツールペイント
今年はいはろウイン!



・山ぶどうのつる細工 かざり

秋の角田山健康ウォーク



第三十回健康ウォーク

十月六日(土曜日)

第一回スリッパ卓球大会

十月三日(土曜日)

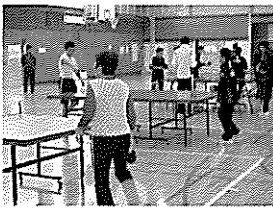
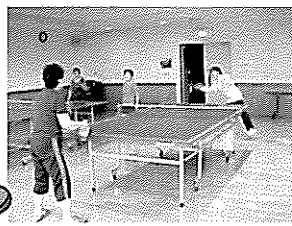
第六回小合親善卓球大会

十月十八日(日曜日)

【保健体育部・スボ振】

第一回スリッパ卓球大会を開催!

下はスリッパ卓球(練習の写真)



小合親善卓球大会 (小合中体育館)



第9回文化講演会 講師：三流亭 楽々さん

演題：笑って楽しく安全落語
平成24年11月25日(日) コミセン大ホール

今年、元警察官で現在落語で活躍している三流亭楽々さんをお迎えして、約2時間、安全落語や、南京玉すだれの芸を披露していただきました。

安全落語では、防犯や交通安全又、最近大きな社会問題となっている「振り込めサギ」の防止策をおもしろおかしく聞かせてくれました。

又、最後には、玉すだれを用いた芸も披露していただき、会場は大きく盛り上がりました。



おみこと、南京玉すだれ



冬の交通事故防止運動実施中

夕暮れ時の事故防止として、外出する時は、反射材を身に着けるか、白っぽい服装で出かけましょう。

◇編集後記◇

12月2日(日曜日)には「小合地区輪投げ大会」が行われました。今回記事が間に合いませんでしたので、次回に掲載します。

【編集、総務部】